

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年1月12日(2006.1.12)

【公表番号】特表2005-504168(P2005-504168A)

【公表日】平成17年2月10日(2005.2.10)

【年通号数】公開・登録公報2005-006

【出願番号】特願2003-532617(P2003-532617)

【国際特許分類】

C 1 1 D 17/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

A 6 1 Q 19/10 (2006.01)

C 1 1 D 1/04 (2006.01)

C 1 1 D 1/14 (2006.01)

C 1 1 D 1/28 (2006.01)

C 1 1 D 3/04 (2006.01)

C 1 1 D 3/06 (2006.01)

C 1 1 D 3/20 (2006.01)

【F I】

C 1 1 D 17/00

A 6 1 K 7/50

C 1 1 D 1/04

C 1 1 D 1/14

C 1 1 D 1/28

C 1 1 D 3/04

C 1 1 D 3/06

C 1 1 D 3/20

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月6日(2005.9.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

0-30重量%の脂肪酸セッケンおよび15-60重量%のノンソープアニオン性界面活性剤を含むトイレットバーであって、0.5よりも大きいデルタpH値の水性スラリーを生じるために有効な量の潜在的酸性剤を更に含むことを特徴とする前記トイレットバー。

【請求項2】

0-20重量%の脂肪酸セッケンを含む請求項1に記載のトイレットバー。

【請求項3】

0-15重量%の脂肪酸セッケンを含む請求項1に記載のトイレットバー。

【請求項4】

20-55重量%のノンソープアニオン性界面活性剤を含む請求項1に記載のトイレットバー。

【請求項5】

25-50重量%のノンソープアニオン性界面活性剤を含む請求項1に記載のトイレットバー。

トバー。

【請求項 6】

1. 0 よりも大きいデルタ pH 値の水性スラリーを生じるために有効な量の潜在的酸性化剤を含む請求項 1 に記載のトイレットバー。

【請求項 7】

潜在的酸性化剤が 0. 1 - 2.0 重量%の濃度範囲である請求項 1 に記載のトイレットバー。

【請求項 8】

潜在的酸性化剤が 1 - 10 重量%の濃度範囲である請求項 1 に記載のトイレットバー。

【請求項 9】

脂肪酸セッケンが C 6 - C 22 セッケンのブレンドを含む請求項 1 に記載のトイレットバー。

【請求項 10】

脂肪酸セッケンが C 12 - C 18 セッケンのブレンドを含む請求項 1 に記載のトイレットバー。

【請求項 11】

ノンソープアニオン性界面活性剤が、C 8 - C 14 アシルイセチオネート、C 8 - C 14 アルキルスルフェート、C 8 - C 14 アルキルスルホスクシネート、C 8 - C 14 アルキルスルホネート、C 8 - C 14 脂肪酸エステルスルホネート、それらの誘導体およびブレンドから選択されることを特徴とする請求項 1 に記載のトイレットバー。

【請求項 12】

潜在的酸性化剤が無機塩である請求項 1 に記載のトイレットバー。

【請求項 13】

潜在的酸性化剤が硫酸アルミニウム、塩化アルミニウム、塩化アンモニウム、リン酸アンモニウム、塩酸アルミニウム、アルミニウム-ジルコニウムトリクロロヒドレート、アルミニウム-ジルコニウムトリクロロヒドレートグリシン錯体、硫酸亜鉛、酢酸カルシウム、塩化カルシウム、硝酸カルシウム、リン酸カルシウム、硫酸カルシウム、硫酸第二鉄、塩化マグネシウム及び硫酸マグネシウムから選択された無機塩であることを特徴とする請求項 1 に記載のトイレットバー。

【請求項 14】

遊離水の量が 1.0 重量%未満である請求項 1 に記載のトイレットバー。

【請求項 15】

遊離水の量が 7 重量%未満である請求項 1 に記載のトイレットバー。

【請求項 16】

遊離水の量が 3 重量%未満である請求項 1 に記載のトイレットバー。

【請求項 17】

更に R y s 値が 0. 70 - 1. 3 の範囲である請求項 1 に記載のトイレットバー。

【請求項 18】

R y s 値が 0. 8 - 1. 2 の範囲である請求項 17 に記載のトイレットバー。

【請求項 19】

少なくとも 0. 1 重量%の脂肪酸セッケンを含む請求項 1 に記載のトイレットバー。

【請求項 20】

(a) 3.0 - 8.0 重量%の脂肪酸セッケン、
(b) 5 - 40 重量%のノンソープアニオン性界面活性剤および
(c) 0. 5 よりも大きいデルタ pH 値の水性スラリーを生じるために有効な量の潜在的酸性剤を含むトイレットバー。

【請求項 21】

4.0 - 7.0 重量%の脂肪酸ソープを含む請求項 20 に記載のトイレットバー。

【請求項 22】

5.0 - 6.0 重量%の脂肪酸ソープを含む請求項 20 に記載のトイレットバー。

【請求項 23】

7-30重量%のノンソープアニオン性界面活性剤を含む請求項20に記載のトイレットバー。

【請求項 24】

10-20重量%のノンソープアニオン性界面活性剤を含む請求項20に記載のトイレットバー。

【請求項 25】

1.0よりも大きいデルタpH値の水性スラリーを生じるために有効な量の潜在的酸性化剤を含む請求項20に記載のトイレットバー。

【請求項 26】

潜在的酸性化剤が0.1-20重量%の濃度範囲である請求項20に記載のトイレットバー。

【請求項 27】

潜在的酸性化剤が1-10重量%の濃度範囲である請求項20に記載のトイレットバー。

【請求項 28】

脂肪酸セッケンがC6-C22セッケンのブレンドを含む請求項20に記載のトイレットバー。

【請求項 29】

脂肪酸セッケンがC12-C18セッケンのブレンドを含む請求項20に記載のトイレットバー。

【請求項 30】

ノンソープアニオン性界面活性剤が、C8-C14アシルイセチオネート、C8-C14アルキルスルフェート、C8-C14アルキルスルホスクシネート、C8-C14アルキルスルホネート、C8-C14脂肪酸エステルスルホネート、それらの誘導体およびブレンドから選択されることを特徴とする請求項20に記載のトイレットバー。

【請求項 31】

潜在的酸性化剤が無機塩である請求項20に記載のトイレットバー。

【請求項 32】

潜在的酸性化剤が硫酸アルミニウム、塩化アルミニウム、塩化アンモニウム、リン酸アンモニウム、塩酸アルミニウム、アルミニウム-ジルコニウムトリクロロヒドレート、アルミニウム-ジルコニウムトリクロロヒドレートグリシン錯体、硫酸亜鉛、酢酸カルシウム、塩化カルシウム、硝酸カルシウム、リン酸カルシウム、硫酸カルシウム、硫酸第二鉄、塩化マグネシウム及び硫酸マグネシウムから選択された無機塩であることを特徴とする請求項20に記載のトイレットバー。

【請求項 33】

遊離水の量が25重量%未満である請求項20に記載のトイレットバー。

【請求項 34】

遊離水の量が20重量%未満である請求項20に記載のトイレットバー。

【請求項 35】

遊離水の量が15重量%未満である請求項20に記載のトイレットバー。

【請求項 36】

更にRys値が0.70-1.3の範囲である請求項20に記載のトイレットバー。

【請求項 37】

Rys値が0.8-1.2の範囲である請求項36に記載のトイレットバー。

【請求項 38】

- (a) 40-85重量%の脂肪酸セッケン、
- (b) 0-10重量%のノンソープアニオン性界面活性剤および
- (c) 0.5よりも大きいデルタpH値の水性スラリーを生じるために有効な量の潜在的酸性剤を含むトイレットバー。

【請求項 39】

50－80重量%の脂肪酸ソープを含む請求項38に記載のトイレットバー。

【請求項 40】

60－75重量%の脂肪酸ソープを含む請求項38に記載のトイレットバー。

【請求項 41】

0－7重量%のノンソープアニオン性界面活性剤を含む請求項38に記載のトイレットバー。

【請求項 42】

0－5重量%のノンソープアニオン性界面活性剤を含む請求項38に記載のトイレットバー。

【請求項 43】

1.0よりも大きいデルタpH値の水性スラリーを生じるために有効な量の潜在的酸性化剤を含む請求項38に記載のトイレットバー。

【請求項 44】

潜在的酸性化剤が0.1－20重量%の濃度範囲である請求項38に記載のトイレットバー。

【請求項 45】

潜在的酸性化剤が1－10重量%の濃度範囲である請求項38に記載のトイレットバー。

【請求項 46】

脂肪酸セッケンがC6－C22セッケンのブレンドを含む請求項38に記載のトイレットバー。

【請求項 47】

脂肪酸セッケンがC12－C18セッケンのブレンドを含む請求項38に記載のトイレットバー。

【請求項 48】

ノンソープアニオン性界面活性剤が、C8－C14アシルイセチオネート、C8－C14アルキルスルフェート、C8－C14アルキルスルホスクシネート、C8－C14アルキルスルホネート、C8－C14脂肪酸エステルスルホネート、それらの誘導体およびブレンドから選択されることを特徴とする請求項38に記載のトイレットバー。

【請求項 49】

潜在的酸性化剤が無機塩である請求項38に記載のトイレットバー。

【請求項 50】

潜在的酸性化剤が硫酸アルミニウム、塩化アルミニウム、塩化アンモニウム、リン酸アンモニウム、塩酸アルミニウム、アルミニウム－ジルコニウムトリクロロヒドレート、アルミニウム－ジルコニウムトリクロロヒドレートグリシン錯体、硫酸亜鉛、酢酸カルシウム、塩化カルシウム、硝酸カルシウム、リン酸カルシウム、硫酸カルシウム、硫酸第二鉄、塩化マグネシウム及び硫酸マグネシウムから選択された無機塩であることを特徴とする請求項38に記載のトイレットバー。

【請求項 51】

遊離水の量が5－30重量%である請求項38に記載のトイレットバー。

【請求項 52】

遊離水の量が7－25重量%である請求項38に記載のトイレットバー。

【請求項 53】

遊離水の量が10－20重量%である請求項38に記載のトイレットバー。

【請求項 54】

更にRys値が0.70－1.3の範囲である請求項38に記載のトイレットバー。

【請求項 55】

Rys値が0.8－1.2の範囲である請求項54に記載のトイレットバー。

【請求項 56】

少なくとも 0.1 重量%のノンソープアニオン性界面活性剤を含む請求項 38 に記載の
トイレットバー。